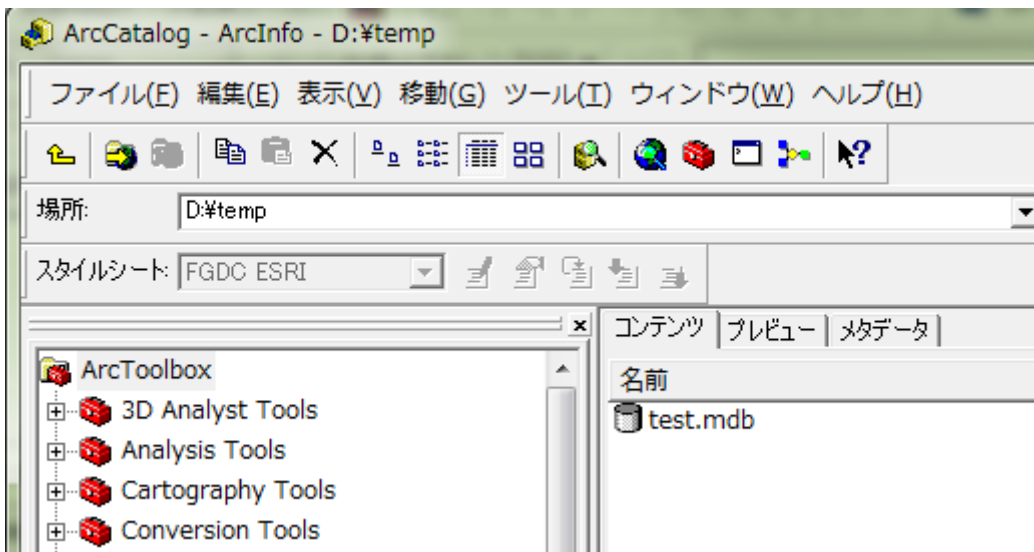
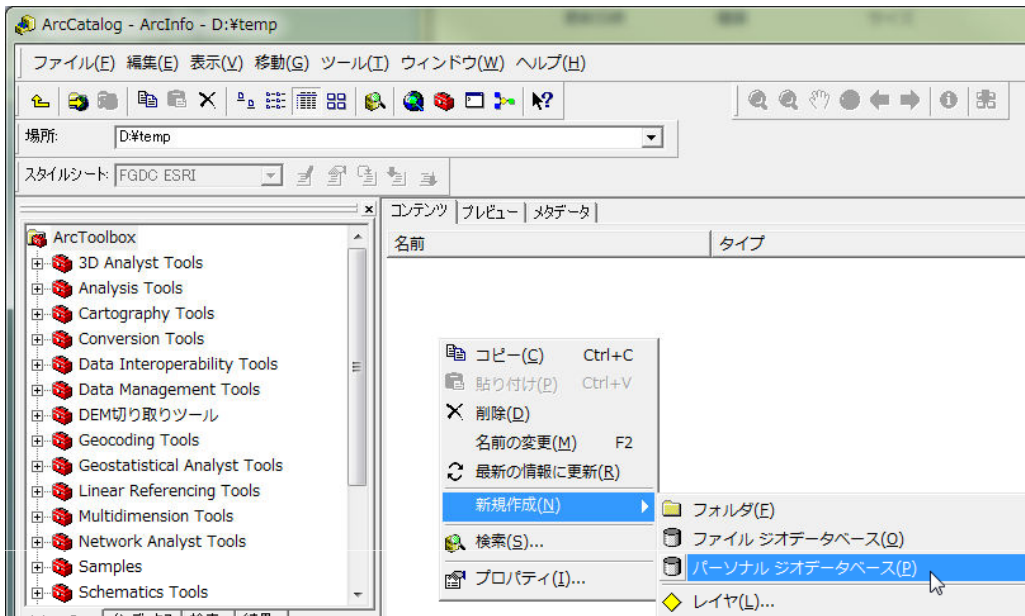


ArcCatalogを起動し任意のフォルダにパーソナルジオデータベースを作成する



パーソナルジオデータベースヘインタセクトを実施したメッシュのテーブルをエクスポートする

属性: male_20k_area_01

FID	Shape *	mesh_20km	area
0	Polygon	623926	24105110
1	Polygon	624000	120721096
2	Polygon	624002	24135291
3	Polygon	624020	24120189
4	Polygon	624022	96382585
5	Polygon	624040	120184424
6	Polygon	624042	96160600
7	Polygon	624044	24008467
8	Polygon	624046	24009316
9	Polygon	624060	47931211

レコード: 0 / 83 選択

メニュー項目: グラフ作成(G)...
レイアウトにテーブルを追加(L)
キャッシュの再読み込み(H)
印刷(P)...
レポート(E)
エクスポート(X)...
表示設定(N)...



データのエクスポート

エクスポート: 全てのレコード

座標系の選択:

- レイヤのソースデータと同じ座標系
- データフレームと同じ座標系
- エクスポート先のフィーチャ データセットと同じ座標系 (エクスポート先がジオデータベース内のフィーチャ データセットである場合にのみ有効)

出力テーブル:

D:*temp*Export_Output.dbf

OK キャンセル



データの保存

場所: temp

名前	タイプ
test.mdb	パーソナル ジオデータベース

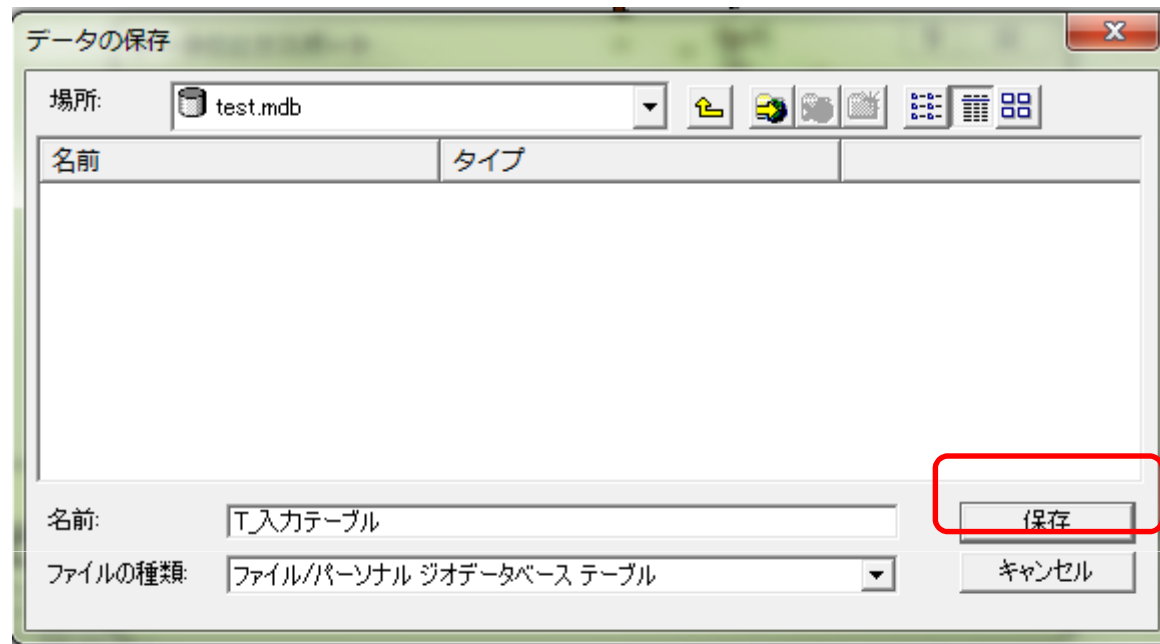
名前: Export_Output

ファイルの種類: ファイル/パーソナル ジオデータベース テーブル

保存 キャンセル


ここをファイル/パーソナルジオデータベーステーブルに設定すると上記のようなアイコンでパーソナルジオデータベースファイルが表示されるのでダブルクリックして開く

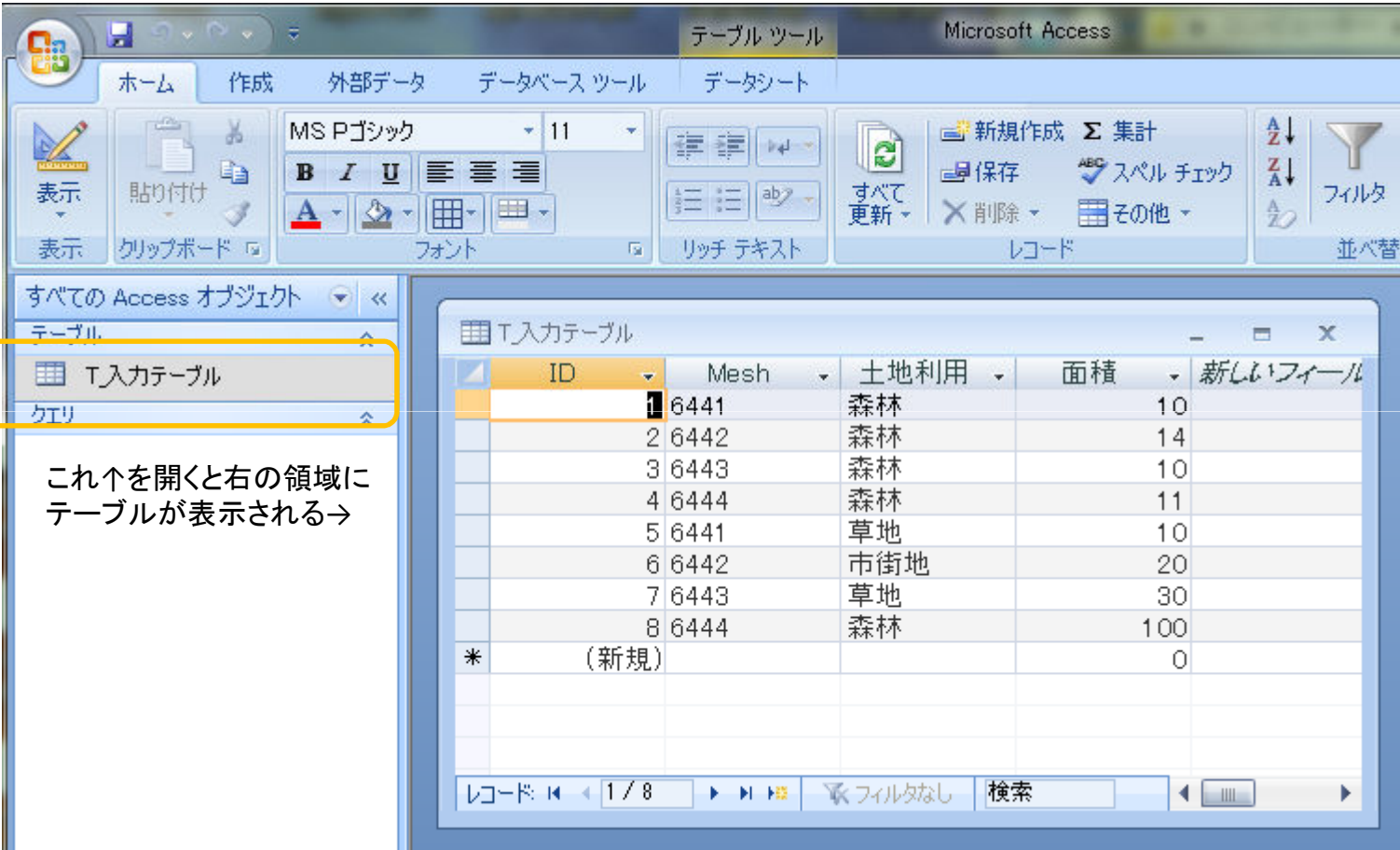
ファイル名を入力し保存する



パーソナルジオデータベースはMicrosoftAccess2003のファイル形式をとっているため
Windows上では以下の様なアイコンで表示される



 test.mdb をダブルクリックするとAccessが起動し以下の様な画面が表示される



Microsoft Access

テーブル ツール

ホーム 作成 外部データ データベース ツール データシート

表示 貼り付け 表示 クリップボード フォント リッチ テキスト すべて 更新 新規作成 保存 削除 集計 スペル チェック その他 フィルタ 並べ替

すべての Access オブジェクト

テーブル

T入力テーブル

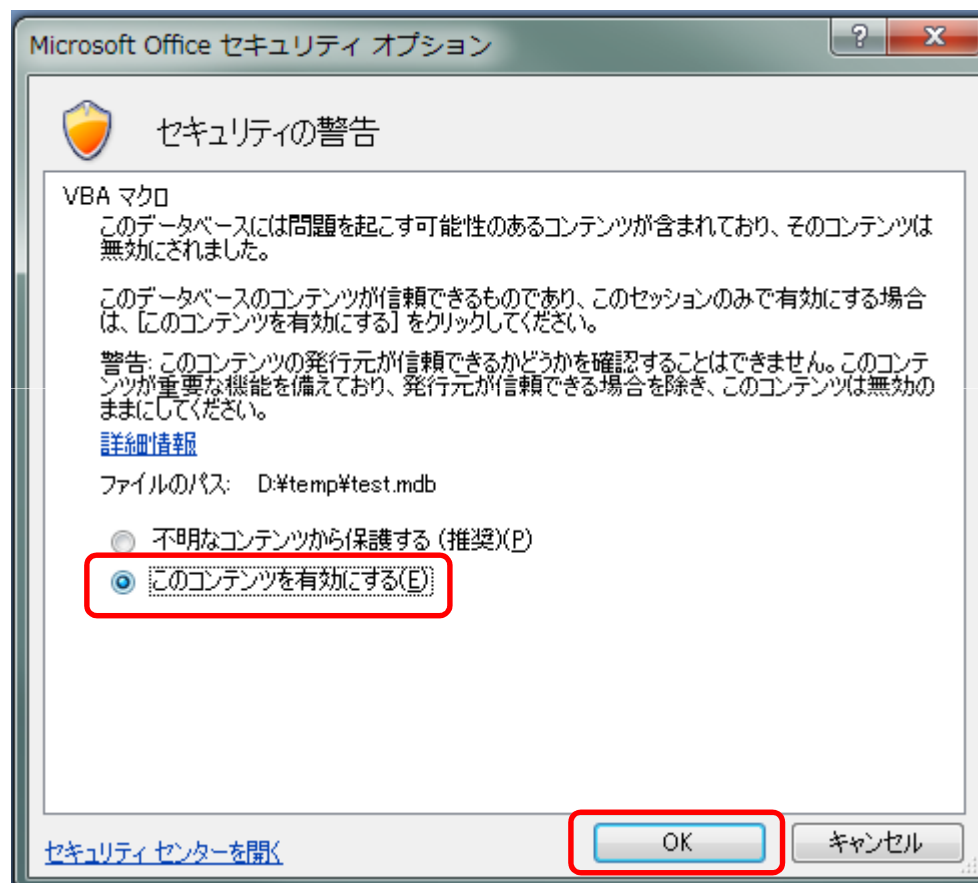
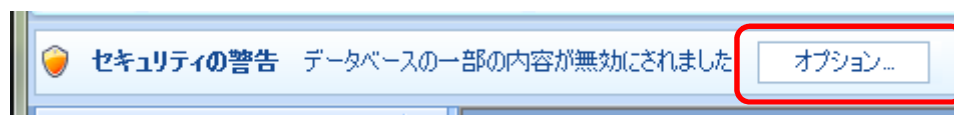
クエリ

これ↑を開くと右の領域に
テーブルが表示される→

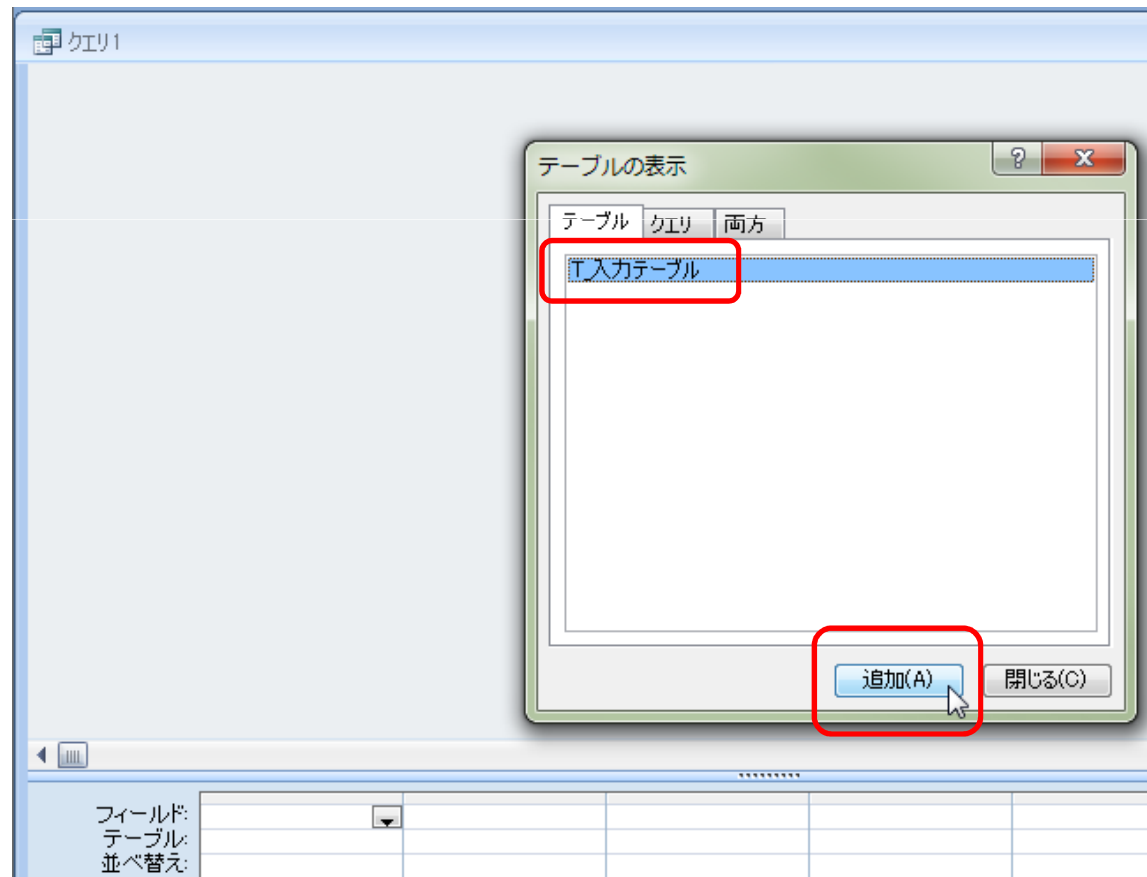
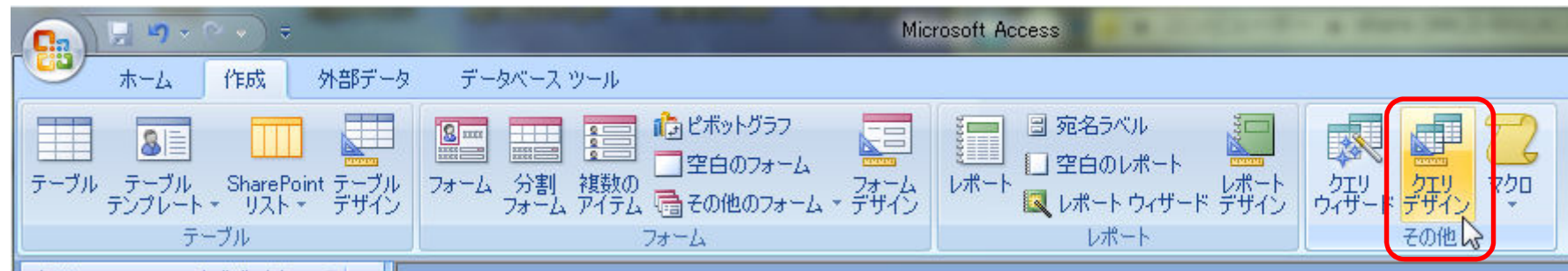
ID	Mesh	土地利用	面積	新しいフィールド
1	6441	森林	10	
2	6442	森林	14	
3	6443	森林	10	
4	6444	森林	11	
5	6441	草地	10	
6	6442	市街地	20	
7	6443	草地	30	
8	6444	森林	100	
*	(新規)		0	

レコード: 1 / 8 フィルタなし 検索

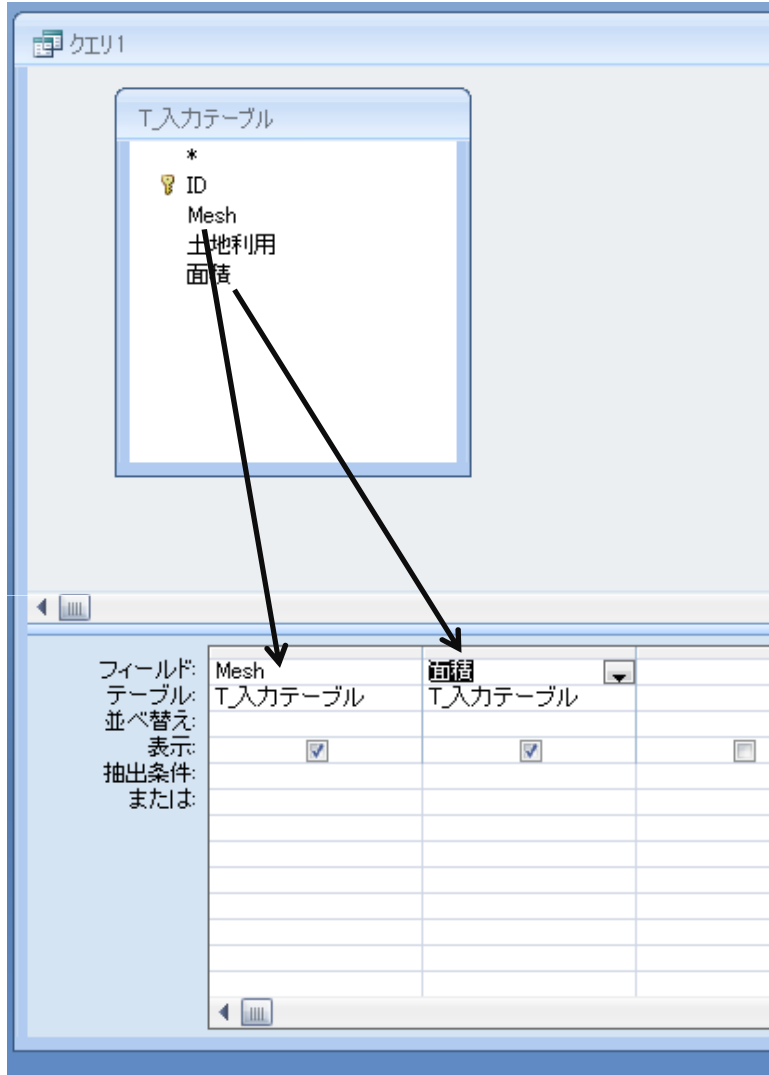
セキュリティの警告が表示された場合は以下のように設定する



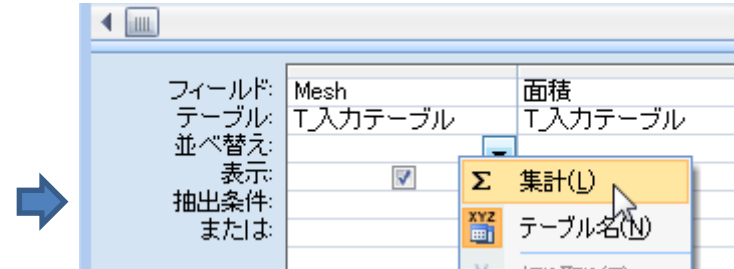
クエリデザインを開いて、インポートしたテーブルを追加する



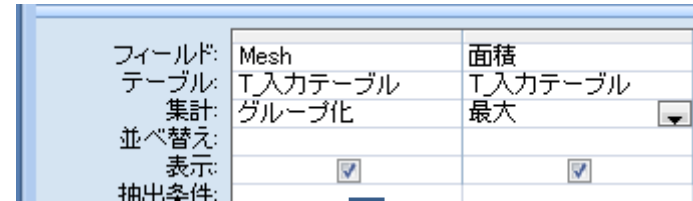
各項目を以下のようにドラッグアンドドロップする



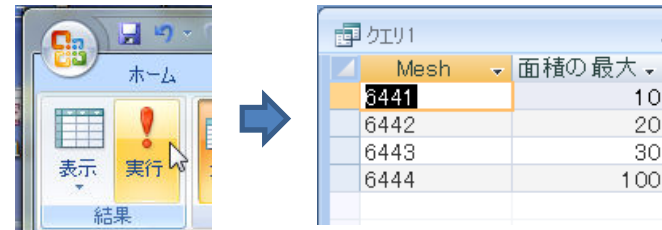
下図の付近を右クリックしΣ集計を選択する



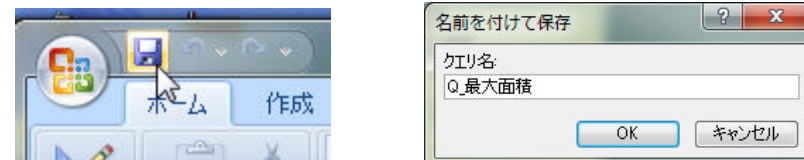
「集計」欄のプルダウンメニューを以下のように設定する



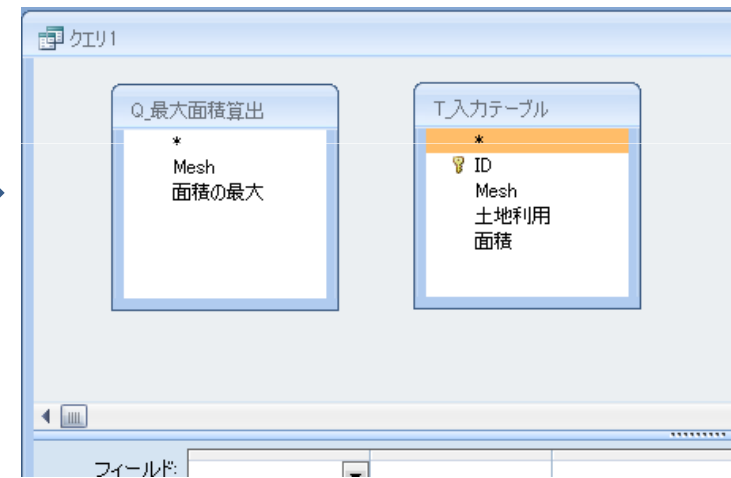
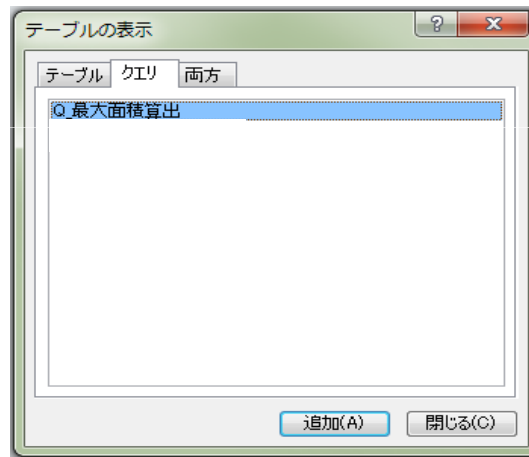
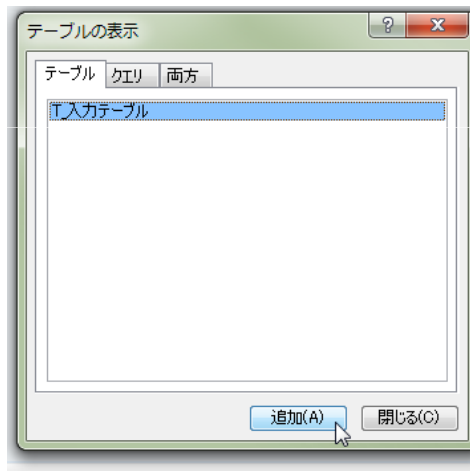
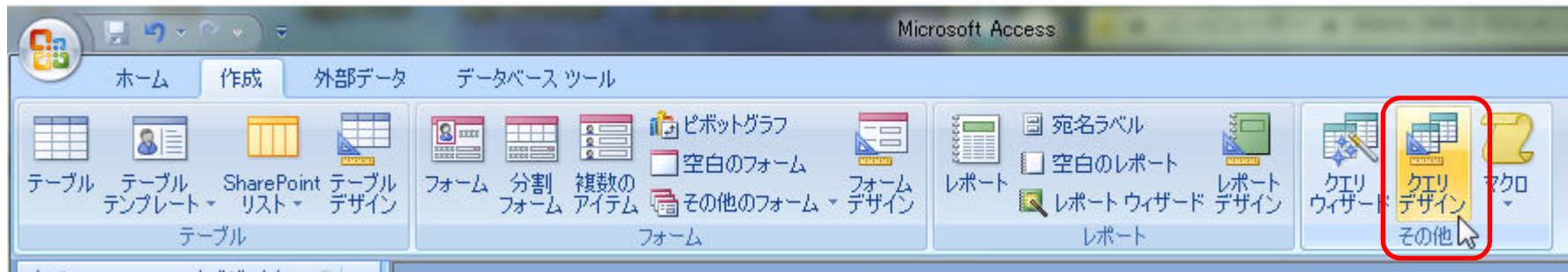
「実行」をクリックすると以下の様にメッシュ内における最大フィーチャの面積が出力される



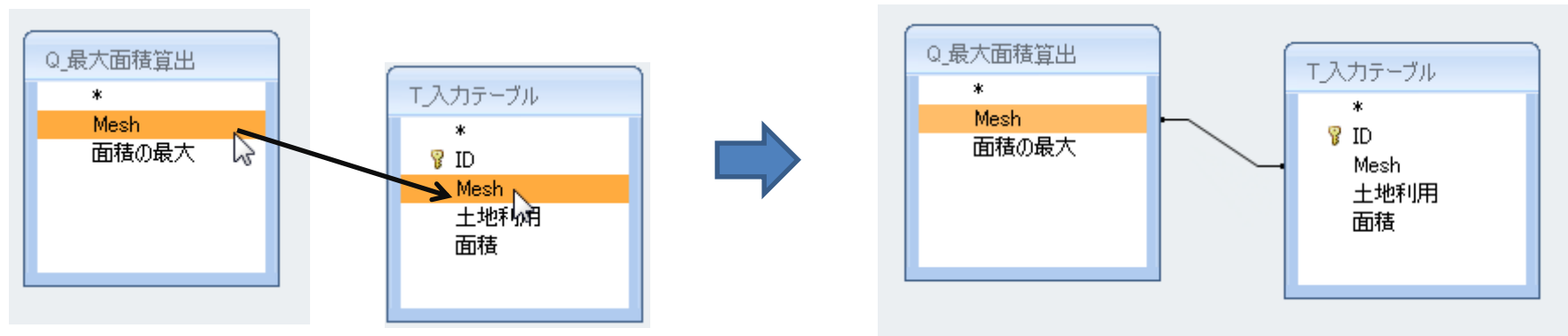
出力結果(クエリ)を保存する



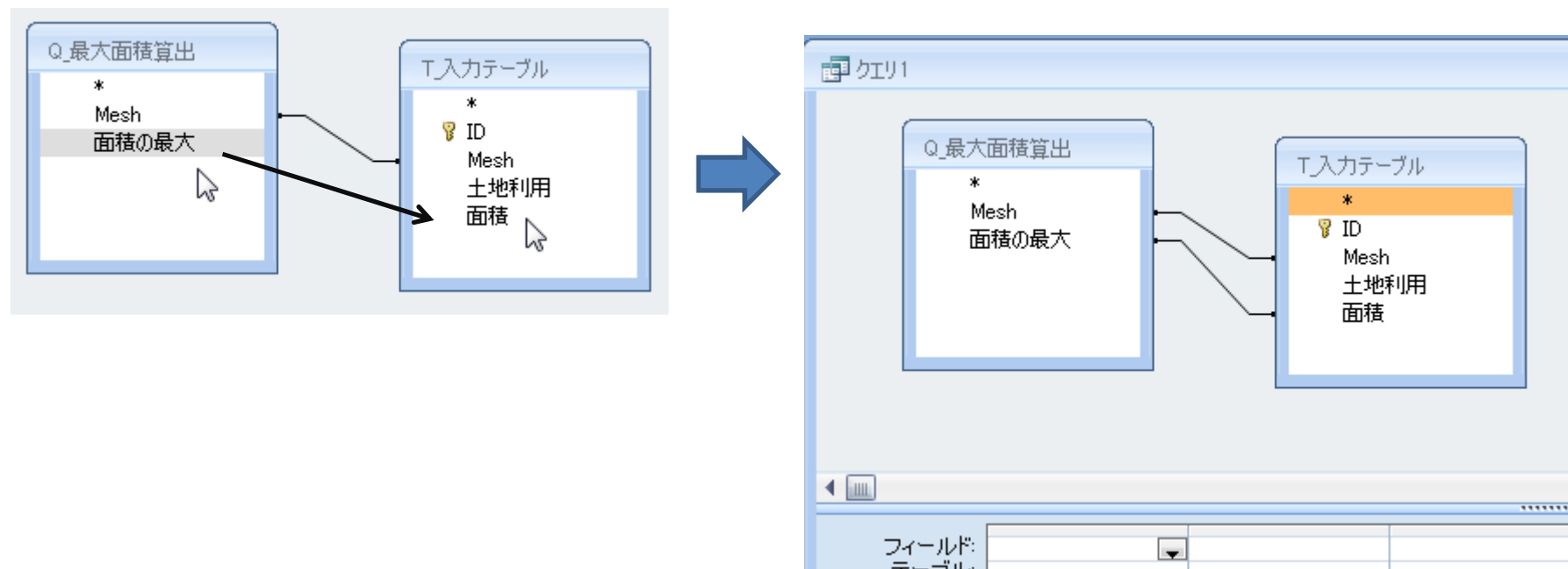
クエリデザインを開いて、インポートしたテーブルと作成したクエリを追加する



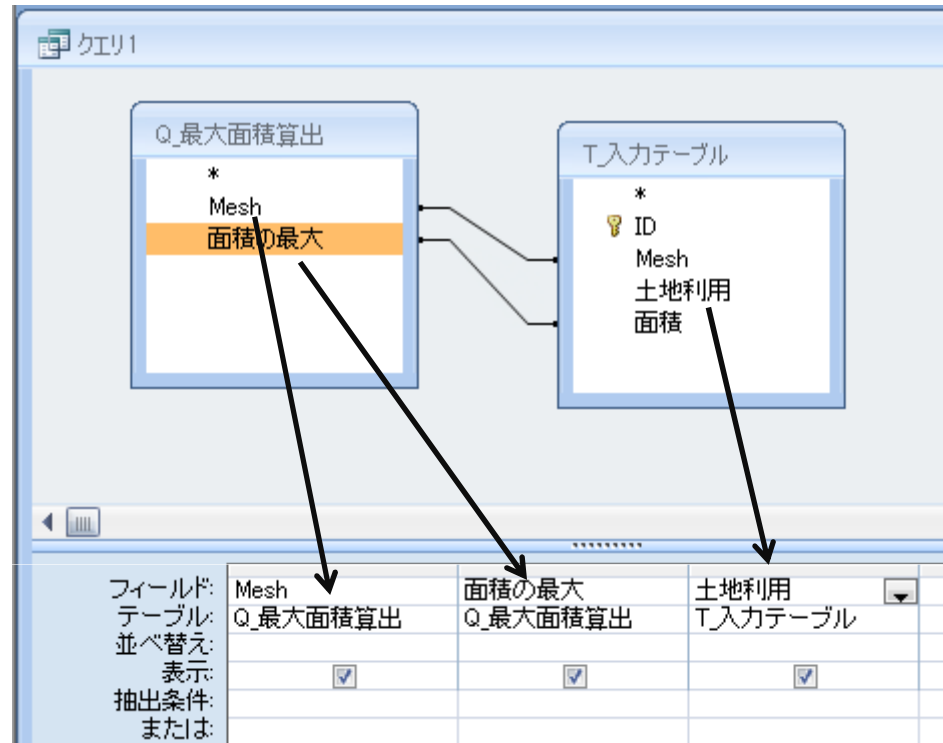
Q_最大面積算出のmeshを T_入力テーブルのmeshにドラッグアンドドロップする



同様にQ_最大面積算出の面積の最大を T_入力テーブルの面積にドラッグアンドドロップする



各項目を以下のようにドラッグアンドドロップする



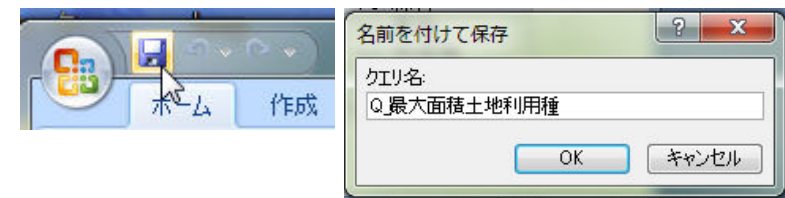
「実行」をクリックすると以下の様に各メッシュ内において最大の面積を持つ土地利用項目が出力される



Mesh	面積の最大	土地利用
6441	10	森林
6441	10	草地
6442	20	市街地
6443	30	草地
6444	100	森林

レコード: 1 / 5 フィルタなし 検索

出力結果(クエリ)を保存する



出力結果(クエリ)をエクセルまたはDBF形式でエクスポートする

